



2019年 6月17日
神島化学工業株式会社
代表取締役社長 池田和夫
(証券コード:4026)

中期経営計画(ローリング)

[2020年4月期～2022年4月期]



中期経営計画（ローリング）	2
1. 計画概要	3
2. 2020年4月期 業績予想	4
3. 2020～2022年4月期 業績計画（ローリング後）	5
4. 化成品事業	6
5. 窯業系建材事業	10
6. 株主還元	14

注意事項

本資料には、神島化学工業の業績に関して、歴史的事実および将来の見通しが含まれています。これらの見通しは将来の業績を完全に見通したものであるとは限らず、将来の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素が含まれており、実際の業績は様々な要素によりこれらの見通しとは異なることがあります。

中期経営計画(ローリング)



・中期的な事業環境認識

国内住宅建材業界は、中期的には、少子高齢化と人口減少により縮小傾向

・中期の経営戦略

(1) 基本方針

成熟産業である「住宅分野」から、現有事業の成長産業である「化成品（マグネシウム）分野」への事業転換、及びアーリーステージの「セラミックス分野」の育成

(2) 基本戦略

- ①建材事業から化成品事業への業態変換
- ②セラミックス事業の本格的事業化
- ③住宅から非住宅へのエネルギーシフト
- ④住宅分野は、高級化路線

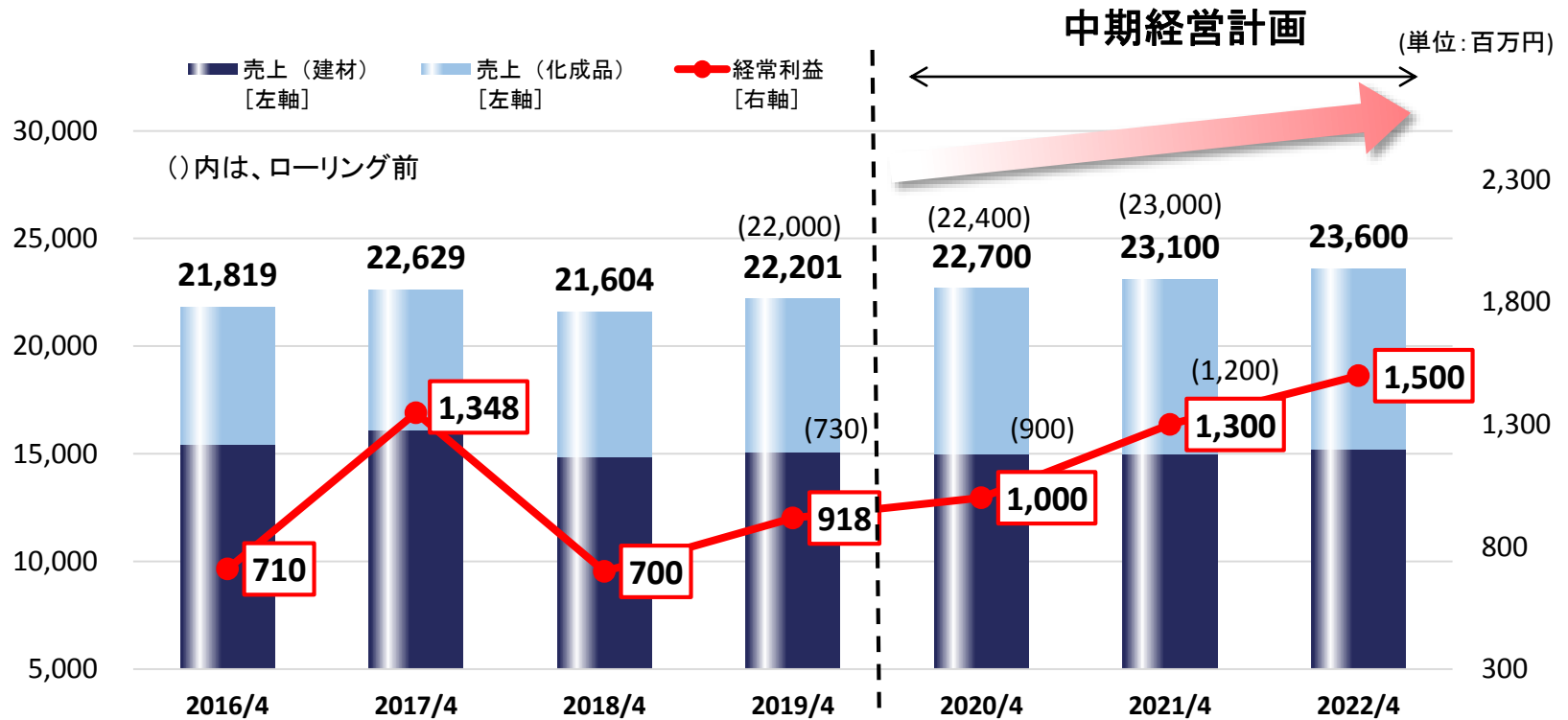
(単位:百万円)

	2019/4期 実績		2020/4期 期初予想		予想実績比	
		内 上期		内 上期	金額	増減率
売上高	22,201	11,103	22,700	11,330	+498	+2.2%
建材	15,056	7,579	15,000	7,600	△56	△0.4%
化成品	7,144	3,523	7,700	3,730	+555	+7.8%
営業利益	948	334	1,060	500	+111	+11.8%
経常利益 (経常利益率)	918 (4.1%)	309 (2.8%)	1,000 (4.4%)	470 (4.1%)	+81 —	+8.9% —
当期純利益	661	209	700	330	+38	+5.9%
減価償却費	1,024	499	1,140	551	+116	+11.4%
設備投資額	1,254	1,017	1,200	—	△54	△4.3%
配当(円/株) (配当性向)	20 (27.7%)	10 (43.7%)	20 (26.2%)	10 (27.7%)	— —	— —

- ◇ 建材事業売上高は、引続き都市型高層ビル向けの耐火パネル・高級軒天ボードが概ね横ばい
- ◇ 化成品事業売上高は、前期の難燃水酸化マグネシウム製造設備の不調影響解消、更に酸化マグネシウム拡販により増収
- ◇ 損益面は、償却費等のコストアップが見込まれるものの、売上高増加、採算性向上等により増益予想

3.2020～2022年4月期 業績計画(ローリング後)

Konoshima Chemical Co., Ltd.

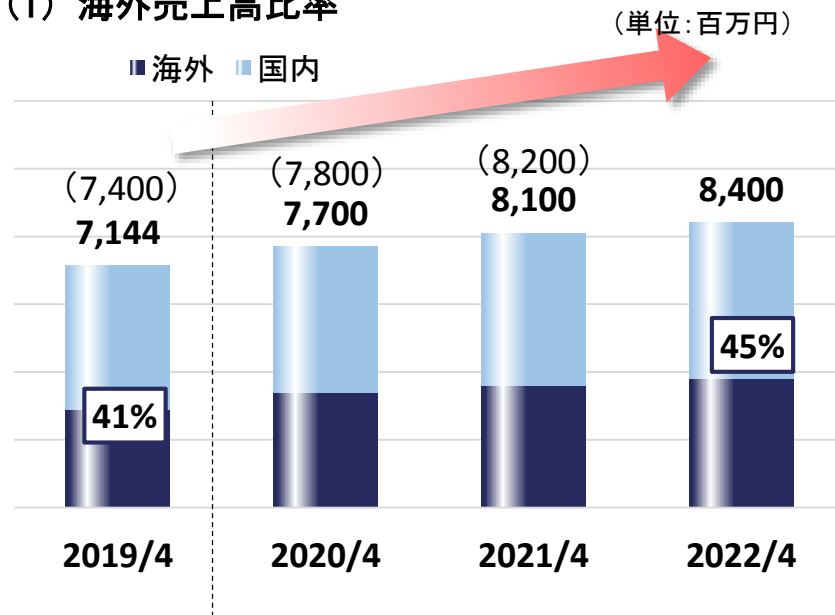


経常利益率	3.3%	6.0%	3.2%	4.1%	4.4%	5.6%	6.4%
自己資本比率	29.1%	33.5%	34.8%	36.4%	38.0%	40.5%	43.2%
総資産	18,936	19,217	19,393	19,611	20,090	20,690	21,440
純資産	5,515	6,446	6,757	7,159	7,630	8,370	9,260
設備投資額	1,423	1,646	1,219	1,254	1,200	1,700	1,600
研究開発費	623	690	689	723	740	760	780

①化成品事業(マグネシウム)は引続き当社の成長エンジン

化成品事業売上

(1) 海外売上高比率



《 中期計画の概要 》

- ・ 当初計画より出遅れているものの、着実に実績をあげており引き続き海外で酸化マグネシウムの拡販に注力
- ・ 海外売上高比率も50%へ . . . (1)
- ・ 全体に占める化成品売上高比率は、現状の3割から4割代へ . . . (2)
- ・ 海外営業体制の更なる強化 (ダイレクトマーケティング)
- ・ 将来へ向けての新技術の開発 (研究機関への人員派遣)

(2) 全体に占める化成品売上高比率

2019/4	2020/4	2021/4	2022/4
32%	34%	35%	36%
(34%)	(35%)	(36%)	

()内は、ローリング前

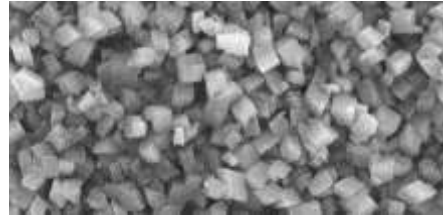


新たな機能性新製品の商品化

電子顕微鏡

【合成ベーマイト】

(特徴)
耐酸性、耐アルカリ性

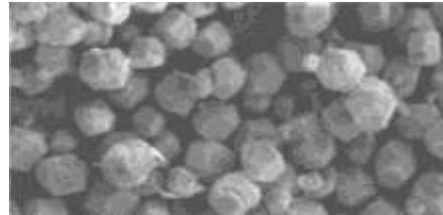


使用用途例

エコ電線、エンプラ部品

【合成マグネサイト】

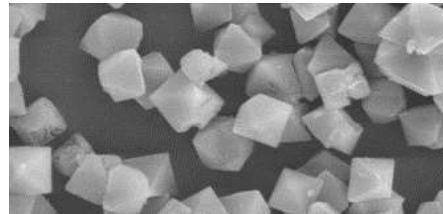
(特徴)
耐熱伝導性



EV車エンプラ部品、放熱シート

【合成タイチャイト】

(特徴)
透明性維持



樹脂添加剤、研磨剤

- ・ 機能性新製品を新規市場へ投入
展示会に出展し、積極的にアピール
2018年度実績 『NPlus2018・新機能性材料展』

②セラミックス事業

国家プロジェクト・大型プロジェクト中心から民生用素材への重点移行そして量産化へ

蛍光体

→2020年からの実装に向けて量産化
さらに高性能化を進め次世代モデルに搭載し拡販

蓄冷材GOS

→NMR/MRI等に向けた極低温用途、販売増加

ファイバーレーザー用大型アイソレーター TGG(Tb₃Ga₅O₁₂)TAG(Tb₃Al₅O₁₂)

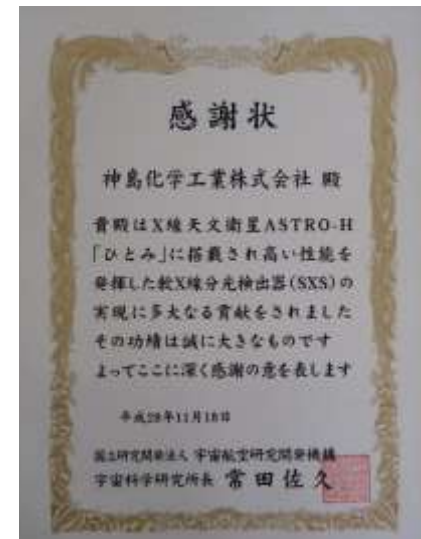
→単結晶からセラミックスへの代替・品質の安定化を証明し、量産化へ

<X線天文衛星「ひとみ」(ASTRO-H)へのGLFの貢献>

2016年2月に打ち上げられたX線天文衛星ASTRO-H「ひとみ」に搭載された「軟X線分光検出器(SXS)」の実現に貢献
⇒国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)より感謝状



「軟X線分光検出器(SXS)」の
極低温冷凍機に対応するため、
当社が開発に成功した製品
『GLF(GdLiF₄)』



トピックス

接合・研磨技術 → **世界で唯一無二**（単結晶では不可能）

<新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)より表彰状授与>

株式会社デンソーと株式会社リコーと共に
平成25年7月～平成29年2月まで「戦略的省エネルギー技術
革新プログラム」で「コージェネレーション用ガスエンジン向け
レーザー点火システムの開発」

⇒NEDOから平成31年2月1日表彰状



接合透明セラミックス「Nd:YAG/Cr:YAG」



<高解像度X線イメージング検出器の開発>

200ナノメートルの構造を解像できる高解像度X線イメージ
ング検出器の開発に参画

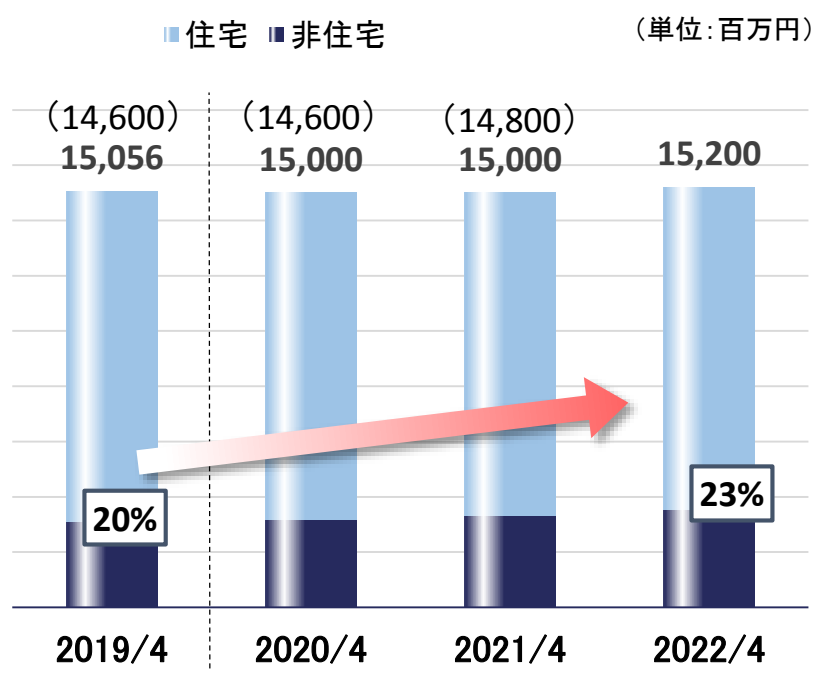
⇒高輝度光科学研究センター(JASRI)
計測技術開発チームの亀島敬研究員
(理化学研究所 放射光科学研究センター データ
処理系開発チーム 客員研究員)と、
理化学研究所 放射光科学研究センター データ処理系
開発チームの初井宇記チームリーダーが実施



接合LuAGセラミックスシンチレーター

③住宅分野から非住宅分野（公共・商業施設等）へ転換

窯業系建材事業売上



20%	21%	22%	23%
(19%)	(21%)	(23%)	
非住宅比率			

()内は、ローリング前

《 中期計画の概要 》

- ・ 非住宅比率を上げ、住宅着工減少に対応可能な体制づくり
- ・ 強みを有する耐火パネルの都市型高層ビル等への更なる本格的取り込み
- ・ ラムダとの技術交流による2018年グッドデザイン賞受賞の遮音板の拡販
- ・ ケイカル板の非住宅分野への販路拡大



④住宅分野は、採算性重視、高級化路線

- ・ 強みの軒天ボード・破風板は、
高級品化（ラフォーレティンバー・ラフォーレグレイス）を更に促進
⇒ 好評な高級軒天ボードは、職人不足対応としてプレカット対応品等省施工品や
新柄商品も加え、新工法「軒天金具工法 アトラフィット」も確立し、更に拡販
- ・ 収益商品であるプライケイカルの拡販へ注力
- ・ 防火サイディングは、採算性を重視した海外輸出に本格的参入

軒天井ボード
〈ラフォーレティンバー〉



KCモール
〈ラフォーレグレイス〉



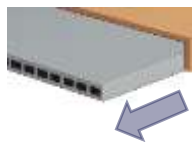
木造建築最高レベルの高性能遮音床

三菱地所ホーム株式会社様と共同開発し、
2018年度グッドデザイン賞を受賞しました。



遮音性に優れた基材 「SSボード」

真空押出し成形とオートクレーブ養生により
製造されます。
緻密に結合したバモライト結晶体により、
高密度・高強度・高剛性を有する基材となります。



真空押出成形

+



オートクレーブ養生

遮音性を維持したバランスのとれた基材

断面の中空形状により、重機を使わずとも人力で施工できる重量まで軽
量化しております。



高減衰ゴムを用いた吊木 「SS高減衰吊木」

自動車部品をはじめ、免震ビルシステム
などで培われた高い振動防振技術。
その技術から生まれた高減衰ゴムを用
いた吊木で、階下に伝わる衝撃を大幅に
抑制することを可能にしました。

「軒天金具工法 アトラフィット」が軒天材の「常識」を変える。

◆世界初の軒天金具工法

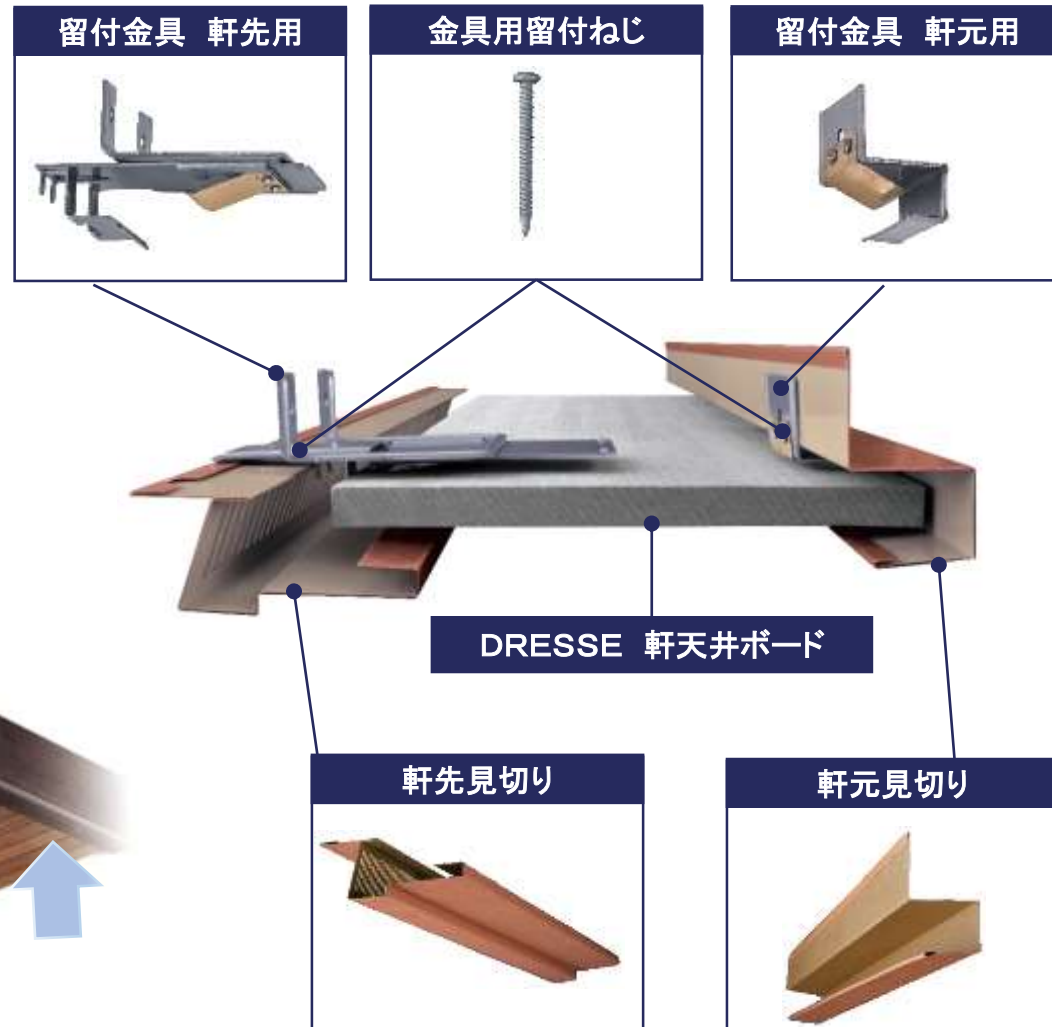
寸法変化の少ない、高品質な軒天井との組み合わせにより実現

◆留め付け・補修の手間を大幅に削減

取り付けた金具に差し込むだけ。釘打ち不要の簡単施工です

◆意匠性の高い軒天材の施工に最適

釘頭周辺の補修を必要としないため、複雑な柄の軒天材が可能に。



◆ 配当方針

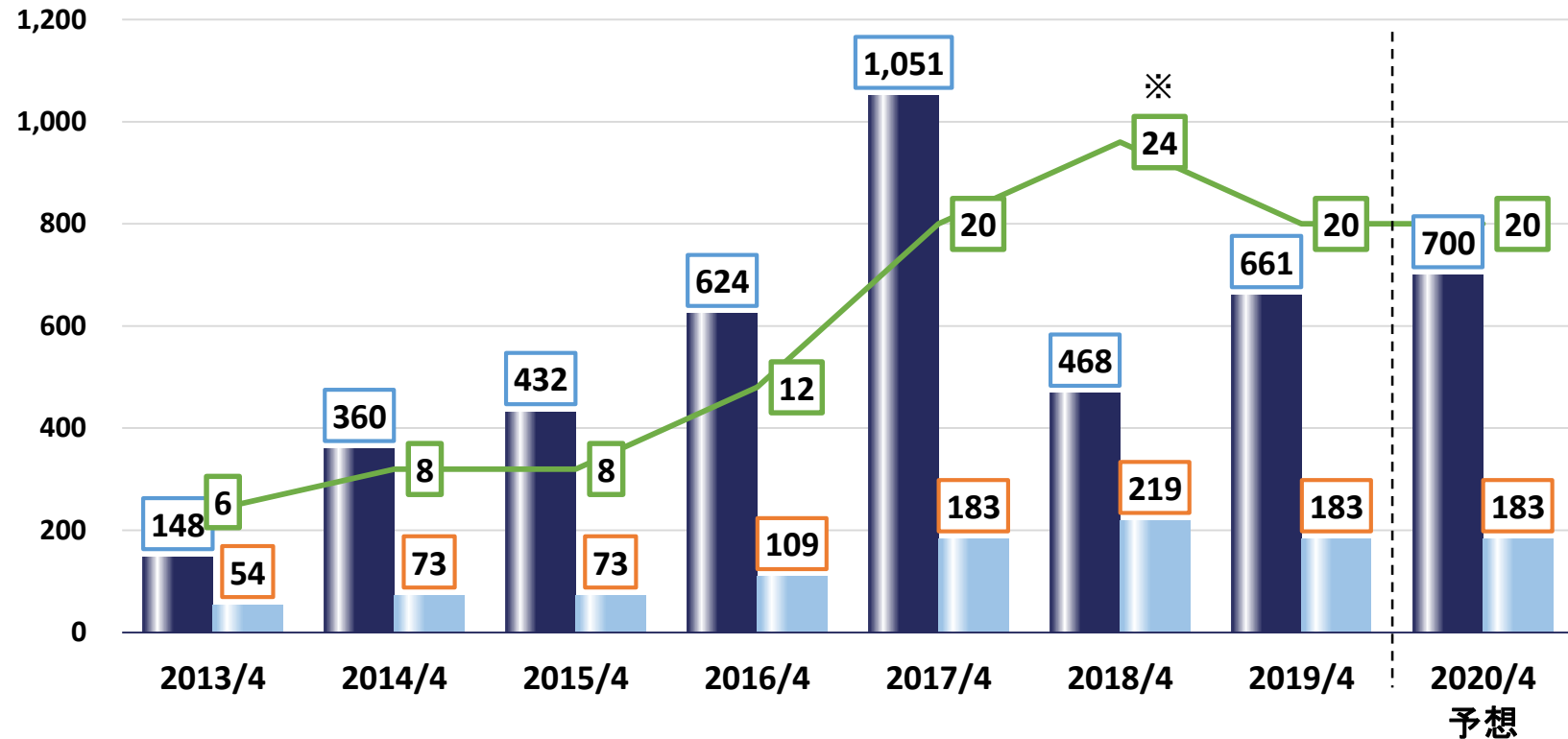
- ・ 利益水準、配当性向及び内部留保の確保等を総合的勘案

◆ 配当予想

- ・ 2020年4月期は、年間配当20円を予想

(単位:百万円)

■ 当期純利益 ■ 配当総額 — 配当 (円/株)



配当性向	37.1%	20.4%	16.9%	17.6%	17.4%	46.9%	27.7%	26.2%
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

※内4円は、創業100周年記念配当

